

科目コード	G6002	科目名	自律神経と音楽				
履修区分	選択	開講期	1年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	伊藤 祥史						
授業の概要	音楽が自律神経系に与える影響について、科学的視点から理解を深めることを目的とします。特に、ハイレゾリューション音が自律神経活動に与える影響に関する最新の研究を取り上げ、音楽療法の可能性や今後の研究課題について学習する。						
DPとの関連	研究者、教育者、又は高度の専門職業人として保健学関連領域における研究課題を発見し、分析・評価し、科学的根拠を探索して新たなケア技術やシステムを創出できる研究力						
	地域社会での質の高いケアの提供のため、自身がリーダーシップをとり、異なった専門的背景をもつ専門職と、同じ目標に向けて連携していくためのファシリテーション能力						
	保健学の専門的な学術理論と実践の融合を図り、社会に対して新たな知見を提案できる能力						
	DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）= 修了までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	自律神経系の基本的な機能と構造を理解する 音楽が自律神経系に与える影響を学ぶ ハイレゾリューション音の特性とその生理学的効果を理解する						
履修上の注意事項							
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	自律神経とは何か？ : 自律神経の基礎知識				事前：自律神経について調べておくこと	
	2	自律神経とは何か？ : 自律神経系の詳細				事前：自律神経について調べておくこと 事後：1回目の講義で学んだことを復習	
	3	自律神経とストレス : ストレスとは。自律神経との関係は。				事前：自律神経とストレスについての論文を1つ調べておく 事後：2回目の講義で学んだことを復習	
	4	自律神経とストレス : ストレス軽減と音楽				事前：自律神経とストレスについての論文を1つ調べておく 事後：3回目の講義で学んだことを復習	
	5	自律神経と音の関係 : ハイレゾリューション音が自律神経に及ぼす影響				事前：自律神経と音についての論文を1つ調べておく 事後：4回目の講義で学んだことを復習	
	6	自律神経と音の関係 : ハイレゾリューション音が自律神経に及ぼす影響				事前：自律神経と音についての論文を1つ調べておく 事後：5回目の講義で学んだことを復習	
	7	音楽が自律神経に与える影響について : ハイレゾ音が自律神経に与える効果に関する研究レビュー				事前：自律神経と音楽についての論文を1つ調べておく 事後：6回目の講義で学んだことを復習	
	8	音楽が自律神経に与える影響について : ハイレゾ音が自律神経に与える効果に関する研究レビュー				事前：自律神経と音楽についての論文を1つ調べておく 事後：7回目の講義で学んだことを復習	
成績評価方法	目標の到達度：レポート 100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	授業において、適宜資料配布						
参考書	その都度紹介する。						
教員からのメッセージ	講義名と関連のある論文を講義前に必ず1つ用意し、読んでおくこと。						
教員との連絡方法	講義後に質問を受け付けます。また、E-mailも活用してください。						
実務経験のある教員	理学療法士として、病院勤務20年（中枢神経系、整形外科、外科、内科等々を経験）、教員になってからも現在まで整形外科クリニックをはじめ訪問リハビリ等々も携わっている。						